

ChatGPT導入研修_基礎編カリキュラム

2023/8/29
株式会社QED

1. 目的と受講者

本研修は、ChatGPTに関する知識を理解し、DX化に伴う活用能力を向上させることを目的としています。また、本研修は、別紙「ChatGPT導入研修Eラーニング受講規約」に同意し、契約した事業者の従業者を対象として実施されます。

2. 研修方法

本研修は、LMS(ラーニングマネジメントシステム)によるEラーニングにより受講する事が出来ます。受講者には、ログインに必要なID、およびパスワードが割り当てられます。

3. 研修時間と修了

本研修の標準学習時間は15時間です。契約期間である2カ月以内であれば、分割して受講する事も可能です。本研修は、契約事業者の勤務時間内においてのみ、受講する事が出来ます。また、本研修で利用するLMSにより受講者の受講状況を把握し、修了したものとします。

4. カリキュラム

講義	カリキュラム	概要
1	DX	企業にとって非常に重要な要素である「DX(デジタルトランスフォーメーション)」について学んでいきます。
1.1		DXとは
1.2		DX化の背景
1.3		コロナ過とDX
1.4		各産業におけるDXの取組状況
1.5		政府の政策の方向性
1.6		企業の経営・戦略の変革の方向性
1.7		企業DXの戦略
1.8		デジタル時代の人材
2	AIの進化・大規模言語モデル	これまでのAIの進化と、大規模言語モデルと呼ばれる技術について解説していきます。
2.1		第一次AIブーム～第三次AIブーム
2.2		第三次AIブームの要因
2.3		ChatGPT(高精度言語AI)の出現
2.4		ChatGPTの学習プロセス
2.5		従来のAIとChatGPTの違い
2.6		ChatGPTでできること
2.7		ChatGPTの展望
3	ChatGPTの利用動向	各企業や官公庁によって、ChatGPTの利用に関する動向は様々です。事例を挙げて学んでいきます。
3.1		ChatGPTを積極的に利用している事例
3.2		ChatGPTの利用を禁止・制限している事例
4	ChatGPT基礎編	事業者がChatGPTを利用するにあたって重要な、個人情報保護や法的問題について学ぶとともに、アカウントを実際に作成して、基本的な操作について解説します。
4.1		ChatGPTの始め方

4.2		オプトアウトについて
4.3		NGケースについて
4.4		プロンプトの書き方
5	プロンプトエンジニアリング	ChatGPTから適切な回答を導き出すための技術である「プロンプトエンジニアリング」について学びます。
5.1		適切な入力内容と順序
5.2		役割を与える
5.3		プロンプトのフォーマット
5.4		プロンプトの要素
5.5		プロンプト集
5.6		エクセルの数式作成
5.7		文章の校正
5.8		メールの文案作成
5.9		マーケティング案の企画
5.10		クレームからサービスの課題抽出
5.11		正規表現の作成
5.12		変数の活用/テンプレ化
5.13		目標設定型プロンプト
6	ChatGPTの応用編について	ChatGPTの更なる可能性や応用について、予告的な側面も踏まえて解説します。
6.1		応用編について
6.2		プラグイン
6.3		API
6.4		応用編に向けて

※受講契約期間内では、いつでも再受講が可能です。

※Eラーニングの受講にあたり、一部内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。